

## 1 中期学校経営方針

### (1) 中期取組目標

#### 中期取組目標

##### 【豊かに学ぶ太尾の子】

基礎学力を充実させるとともに、主体的に学び合う授業、体験豊かで探究的な学習活動、特別支援教育の充実により、話す・聴く力、問題を見つけ解決する力を伸ばし、その子らしい豊かな学力を育てます。また充実した道徳授業や丁寧な児童指導、いじめ防止対策を推進することで、自己肯定感が高く思いやりの心が豊かな、健康で行動力のある子どもたちを育てます。

##### 【ともに未来をひらく太尾の子】

ふとおの時間を柱とした教育課程の再構築と、保護者や地域との連携等による安全・安心で持続可能な体制づくりによって、地域の自然と社会、人に学び、地域を愛し、地域に生き、持続可能な社会の未来をひらく力のある子どもたちを育てます。

### (2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野		具体的取組
豊かな心		①「豊かな心育成推進プラン」をもとに、自己肯定感と思いやりの心、規範意識を高めていく教育活動を継続的に推進する。
担当	豊かな心	②全ての教育活動において、多様な価値観を認め合うことを大切にした指導を継続的に行うことで、子どもたち一人ひとりが多様性を認め合える素地を培う。
		③異学年交流を充実させ、相手意識を大切にした関わりを通して、相手の気持ちを理解しようとする心を育てる。

## 2 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」に関わる課題）

学力学習状況調査の結果から「自分のことが好きだと思いますか」「自分にはよいところがあると思いますか」という質問への「そう思う」の回答が他項目よりも低く、自己肯定感が高くないことが分かる。学習の理解度は高いにも関わらず、自分に対して自信がもてていないという実態がある。そこで、子どもたち一人ひとりが、自信をもって自分の良さを表出したり発揮したりしていけるように、支援を重ねていくことが大切であると考えます。

## 3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

### 【項目 道徳教育】道徳科を要とした学校の教育活動全体を通じた道徳教育

- 各学年の指導の記録や、指導資料、主題配列表などを着実に足跡として残していくことを通して、どの担任も安心して道徳の授業を進めていけるようにする。
- 各学年（学級）で、学校行事や各学習と道徳の指導計画との関連を見通した道徳指導計画を作成し、年間を通して、落ちなく効果的に道徳の学習を展開していけるようにする。

### 【項目 体験的な活動】体験学習の充実

- 月1回のペア活動を充実させるとともに、異学年との交流を深める集会を行うなど、豊かな関わりをつくり出し、学級集団だけではない異学年同士のつながりを築くようにする。
- 低学年は「上級生に対して礼儀を大切に」、高学年は「自分も相手も楽しめるような計画を立て、優しく関わる」ことを大切にするよう、児童にしっかりと指導をすることを通して、望ましい関わりができるようにする。

【視点3】

上記に示したことを通して、子どもたちに自己有用感・自己肯定感を育み、自信をもてるような支援をしていく。